

しまねの地域包括ケア

どうして財布を盗ったって言うの？

～認知症の朝子さんと家族のお話～



島根県

製作協力

漫画 北川 なつ

エスポアール出雲クリニック院長
精神科医 高橋 幸男 先生

認知症になる可能性は誰にでもあります。

認知症になっても、希望と尊厳を持ち暮らし続けることは、誰しもの願いです。

そうした暮らしを実現するためには、私たち一人一人が自分事として認知症について正しく知り、認知症のある人に関して正しい理解を深める必要があります。

認知症になり、自分がこれまでと違うこと、違和感に最初に気づくのは、当たり前ですが本人です。

認知症のある人は「何もわからない人」ではなく、認知症による「不安やつらさを抱えている人」です。

認知症という状態の中で、周囲の人とのつながりが変化し、「悩み困惑している人」です。

認知症のある人は、今までの自分と現実のギャップを埋めようと「日々の中で誰よりも一生懸命に考えている人」ではないでしょうか。

この冊子では、認知症のある人が抱える不安やつらさに寄り添った対応についてご紹介します。

認知症であってもなくても、周囲の人と心地よくつながるヒントになることを願っています。

登場人物紹介

【石見家】

いわみ



朝子(78)



5年前
に他界

鉄雄(享年73)



タ子(47)



銀次(47)



とびお(小5)



ぼたん(小3)

みんなの カフェ

(認知症カフェ)



母(78)

参加者

白鳥さん(43)



シジミ病院



主治医

益田先生

認知症カフェにて





母の診断



会話に入れない



財布が無い



相談

今日は、母の
定期健診の日

シジミ病院

母が検査に
まわっている間に、
最近の母のことを
主治医に相談した

私のことをドロボウ
だって言うんですよ

私なりに母のために
一生懸命やってる
つもりです

いくら認知症だって
言われても、母親に
ドロボウ扱いされて

私だって人間
なんですから
傷つきますよ

頑張ってたら
ドロボウに
されるなんて
そんな...

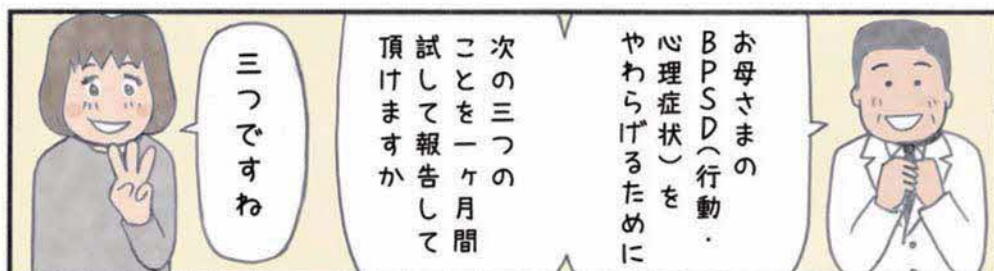
お母さまが娘さんを
ドロボウ扱いしてしまうのは
お母さまの一番そばで
一番、一生懸命頑張っている
からかもしれませんよ

お母さまのことが
心配で、お母さまの
ためを思っ

絶えず注意や
指摘をしていま
せんか？

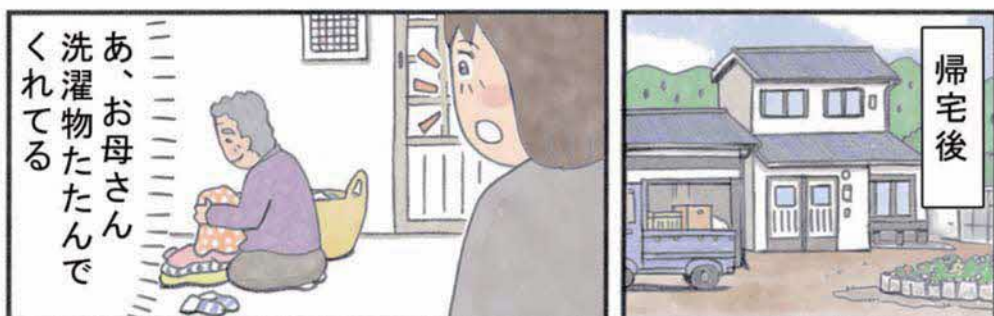


三つの提案



- ① お母さまに対して
意識して「ありがとう」と
感謝の言葉を伝えましょう
- ② あいさつや天気の話など
日常の声掛けでよいので、
たとえ返事がなくても、
伝わっているという思いで
笑顔で話しかけましょう
- ③ 間違いや上手くできない
ことへの指摘を減らしましょう











現実的には、このマンガで紹介した方法だけでは上手くいかないこともあります。

認知症のある方と周囲の方がよい関係を保つために、症状に関連する感情や思考に対して、薬物療法が必要となる場合もありますし、時には入院や施設入所を選択せざるを得ないこともあります。

状況に応じて適切な対応を取るためには、認知症のあるご本人や認知症の方を見守る人が、困ったことを相談できる機関やサービスを知り、つながることが大切です。

認知症で困ったときに助けてくれる場所は身近にあります。





BPSD(行動・心理症状)ってなに？



認知症では様々な原因で脳の働きが低下し、**記憶障害**(物忘れなど)や**見当識障害**(時間や場所、人物などを正しく認識する能力が低下する)、**実行機能障害**(料理や買い物など物事を順序だてて行う能力が低下する)といった中核症状と呼ばれる症状があらわれます。

また、中核症状に加えて、生活環境や周囲の対応など様々な要因が影響し、徘徊や暴言・暴力といった症状があらわれることもあります。これらは**BPSD(行動・心理症状)**と呼ばれ、かつては介護者目線で「問題行動」と呼ばれていましたが、近年では周囲の環境や介護者の対応次第で改善する可能性があることがわかってきました。



BPSDは、**環境や対応次第で改善**する可能性があります。

BPSD(行動・心理症状)と一般的に言われているもの

ひとり歩き
(徘徊)
はいかい



帰宅願望



収集癖



暴言・暴力



無気力



妄想



など...

BPSD発症に影響を与える要因

脳の変化による影響

- 記憶障害●実行機能障害
- 見当識障害

環境

- 人…特に周囲の人(介護者や家族など)の関わり方の影響
- 場所
- 五感(視覚、聴覚、嗅覚、味覚、触覚)を刺激するあらゆるもの

性格

その時の心理状態

人生歴・生活歴

日々の体調

便秘、脱水、発熱、
薬の副作用、急性疾患、
慢性疾患、ケガなど

認知症になることで起こりがちな周囲の人の変化



認知症となる。認知症と診断された途端に…



- 指摘される(叱られる)が増える
- (できるか、できないかに関係なく)
昨日までしていた役目などを奪われる
- 子供扱いされる(家庭内の立場が変わる)
- 急に対応が厳しくなったり、逆に優しくなったり

一人であ
うけられ
ないで
ほしい



私が
かわりに
やるから
いいよ



脳そのものの変化の影響に限らず、BPSD発症の
要因は様々で、それらが複合的に影響し合って
様々な形、様々な強弱であられるのです。



物盗られ妄想のメカニズム(朝子さんの場合)

- ・もともと面倒見がよいが、人の世話になるのは苦手。自己管理がしっかりできる人。
- ・勝気な性格でプライドが高い。



認知症になり...



家族とうまく
コミュニケーションが
とれなくなる



家族、特に娘の
世話になることが
増える



娘から指摘される
しかられることが
多くなる

そんな日々の中...

短期記憶障害により、どこに財布を
しまったのか、わからなくなる



なぜ財布が見つからないのか
納得できる理由を考える

「私が財布を
なくしたんじゃない!」



今朝、娘が私の部屋に
出入りしてたような...



娘は、よく私の
そばにいるから
財布の場所を
知っているはずだ



娘が盗ったに
違いない!

家族からの孤立

「娘の世話
になる」
という
屈辱感

そして...

娘から、しかられる
という攻撃



BPSDで使われる言葉について

「問題行動」という言葉は使わなくなりましたが、一つ一つの状態を表す言葉の数々が、当事者の思いや実状とかけ離れたものになっていないか、使う時に一度立ち止まってみることが大切です。



例えば…

※『徘徊』という言葉には、「目的もなく歩き回る」という意味合いがありますが、実際には認知症のある人で、「目的もなく歩き回る人などいない」と考えた方がいいでしょう。



「目的もなく歩き回っている」と考えてしまうと、そこで思考停止してしまい、根本的な問題解決の方向にむかわず、対処療法に終始してしまいがち

ひたすら
出て行く
のを
止めたり

薬で落ち着か
せるなど…



すでにない生家を
探して歩き回る
これも本人に
とっては現実

いなん
るんで
外に？

歩いている
うちに目的を
忘れる人も
いるでしょう



なんとなく
散歩する
のだって
立派な目的

「徘徊」などの介護で使われる言葉は、介護されている人の状況を第三者に短い言葉で伝えることが出来ます。だから便宜上、どうしても使ってしまうです。

しかし、わかりやすくインパクトのある言葉は、たやすく「迷惑なAさん」というレッテルを貼ってしまう危険性をはらんでいます。

本当は、「徘徊する迷惑なAさん」ではなく、「生まれた家に帰ろうとして歩き、道に迷ってしまうAさん」かもしれません。

認知症のある方と周囲の人がより良い関係を続けていくためには、その症状の奥にある理由、原因を探ろうとする意識を持つことが大切です。

【参考文献】

『認知症を受け入れる文化、そして暮らしづくり』

高橋幸男 著 エイアールディー発行

『なぜ、認知症の人は家にかえりたがるのか』

恩蔵絢子・永島徹 著 中央法規出版発行

認知症当事者や介護者 希望のを見つけ方



認知症カフェや
本人交流会など
のつどいの場



認知症の人と
家族の会など、
関連団体に
参加する



当事者や
介護者の
講演会(会場
・オンライン)

テレビ・・・
ドキュメンタリー
介護情報番組
ドラマなど



本・・・当事者
や介護者の
ノンフィクション
実用書、小説など



ケアマネジャーなど
介護・医療専門職へ相談



地域包括支援センター、
役所などの公的な相談
窓口や民間の相談窓口
の活用

ネット・・・情報収集、
動画視聴。SNSの
グループに入る、
勉強会に参加など



地域活動に参加し、
地域とつながる



映画・・・フィクション、ノンフィク
ション。映画館だけでなく、自主上
映が積極的に行われている作品も
あります

**特に当事者同士が出会う試みが少しずつですが
広がっています**

当事者同士



当事者が
当事者の
相談を受ける
窓口

まだ多くはないですが、
全国にあります。



医療機関での
ケアサポート体制



診断直後の当事者が、
不安を乗り越えながら
生きている当事者と
出会う場を医療機関内
に設ける仕組み

身近にあります。認知症で困った時に助けてくれる場所

しまねの地域包括ケア

ちいき ほうかつ



・しまね認知症コールセンター 0853-22-4105

認知症介護の経験者や専門スタッフが、認知症介護の悩み等について相談を受け付けています。



月～金／午前10時～午後4時まで
(祝日及び年末年始をのぞく)

・認知症の人と家族の会 島根県支部 0853-25-0717

定期的に本人や家族が集まり、交流や情報交換をしています。



月～金／午前10時～午後4時まで
(祝日及び年末年始をのぞく)

最寄りの相談窓口などを
知りたいと思ったら…



・地域包括 支援センター

認知症をはじめ、高齢者の
様々な相談に応じています。

・認知症カフェ

認知症のある人とその家族、
地域の人や専門職の人など、
誰もが気軽に集い、情報交
換や悩みの共有ができます。



島根県 認知症の相談窓口

検索



これらの冊子も
ホームページ上で
ご覧になれます

島根県 健康福祉部 高齢者福祉課 地域包括ケア推進室